

III 地域の再生

<主要施策の取組状況>

1 地域再生に向けた地域と一体となった取り組み支援

- ・市町村等が行う鳥獣被害対策（捕獲、防護柵設置等）へ財政的な支援を行うとともに、各地域（湘南、県央、県西）県政総合センターに鳥獣被害防除対策専門員を計5名配置し、技術的な支援をおこなった。さらに、県の環境部門と農政部門からなる鳥獣被害対策支援チームの活動を推進し、地域自らが継続的・計画的な被害対策を推進する仕組み作りを支援した。（Vシカ等野生動物の保護管理再掲）
- ・各地域において被害防除対策を指導する人材を育成するため、鳥獣被害対策講習会を開催し、対策の効果的取組を推進した。（Vシカ等野生動物の保護管理再掲）
- ・伊勢原市大山・子易地区における野生生物対策に対して、地域住民と行政が連携して取組む鳥獣被害対策への協力を行い、地域主体の取組が促進されるとともに地域と行政の連携が図られた。
- ・統合再生プロジェクト（東丹沢2）の中で現地検討会を開催し、森林整備と鳥獣被害対策の連携や地域特性に合わせた森林の整備方法について県と村の担当者で意見交換を行った。

2 里山地域の保全・再生と活用

- ・里地里山条例に基づき認定団体が行う、農林地等の保全・再生、体験教室等に要する経費に対し、市町村が補助するのに要する経費を助成した（7地区）。
- ・化学合成農薬等の使用量削減の取組に対して、国・市町村とともに補助金を交付するとともに、7名をエコファーマーと認定し、環境保全農業への取組の推進を行った。

○地域と一体となった取組支援の実施状況（平成25年度）

鳥獣被害対策	水源林整備・里山整備
・市町村等への財政的支援。 ・3地域県政総合センターに鳥獣被害防除対策専門員（5名）の配置。 ・3地域県政総合センターにおける鳥獣被害対策支援チームの活動の推進。	・地域水源林整備事業の実施。 （実績はⅡ人工林再生に含む）

○里山地域の保全・再生と活用の実施状況（平成25年度）

里地里山条例に基づく認定団体の活動支援実施状況	環境保全型農業の推進状況
7地区	・エコファーマー認定（7名）

統合再生プロジェクト現地検討会の様子



集落環境の課題検討の様子
(地域住民と連携した鳥獣被害対策)



○地域の再生に関する事業実施場所（位置情報のある事業のみ掲載）

